

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年5月10日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2008～2011

課題番号：20242006

研究課題名（和文）日本古典籍総合目録における隣接領域の受容拡充と検索機能の整備のための研究

研究課題名（英文）The study on the expansion of the reception of the adjoined domains and the service of the function of the search in the National Institute of Japanese Literature's Union Catalogue of Early Japanese Books

研究代表者

鈴木 淳（SUZUKI JUN）

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：40162953

研究成果の概要（和文）：

国文学研究資料館が所蔵する和古書約一四五〇〇点、和刻本漢籍六〇〇点について、古典籍について新しく考案した「日本古典籍分類表」における分類語を付与し、その結果を検索機能システムと連動させた。これによって、国文学研究資料館のデータベースである「所蔵和古書目録」における分類（種別）を、より体系的で正確なものにすることができた。また、分類による検索機能を活用することによって、古典籍を多角的に検索することが可能になった。

研究成果の概要（英文）：

Through this study, we have applied the keywords of the classification, which are based on the new classified table of the old Japanese books. And then the results, gained by the application of the keyword, could have been connected with a system of the function for the search. Consequently we could make the classification in the database of National Insutitute of Japanese Literature 'Shozo Wakosho mokuroku' more systematic and accurate. In addition, according to the practical use of this function for the search, it would be become possible to carry out a multiple search of the old Japanese books.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	9,600,000	2,880,000	12,480,000
2009年度	7,600,000	2,280,000	9,880,000
2010年度	9,400,000	2,820,000	12,220,000
2011年度	14,300,000	4,290,000	18,590,000
年度			
総計	40,900,000	12,270,000	53,170,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：日本古典籍、分類、和古書、和刻本、検索、日本古典籍総合目録データベース、日本古典籍分類表、絵本

1. 研究開始当初の背景

(1) 国文学研究資料館の「日本古典籍総合目録」データベースが基づく『国書総目録』は、既成の目録からの採録という方針のもと、分類情報も個々バラバラな傾向があり、統一性を欠いていた。

(2) そのため、「日本古典籍総合目録」データベースの一部を成す「所蔵和古書目録」データベース（館蔵和古書のデータベース）の分類情報においても同様の状況が認められる。

(3) そうした分類をめぐる状況を克服するために、本研究の前段を成す研究で、新しく分類シソーラス「日本古典籍分類表」を考案し、本研究でその実践的な展開として、館蔵和古書への適用を計画した。

2. 研究の目的

(1) 「日本古典籍目録」データベースの一部を成す「所蔵和古書」データベースにおける分類を体系的かつ正確なものにする。

(2) 「所蔵和古書」データベースにおける、分類語からの検索機能を充実させる。

(3) 日本古典籍の一領域としての、和刻本漢籍の組み入れによる「日本古典籍総合目録」データベースの対象の拡充。

(4) 書籍以外の形態を取る資料の組み入れによる、「日本古典籍総合目録」データベースの対象の拡充。

3. 研究の方法

(1) 新たに考案した「日本古典籍分類表」における分類語の、館蔵和古書への適用。

(2) 「所蔵和古書目録」データベースに適用した「日本古典籍分類表」の分類語と連動した検索機能システムの構築。

(3) 従来の日本古典籍という概念から外れる、館蔵の和刻本漢籍についての四部分類の見直しと、日本古典籍の一領域としての新たな分類の適用。

(4) 書籍以外の形態を取る懐紙、短冊、軸物、一枚物などについての、日本古典籍の領域としての新たな分類の適用。

(5) 海外の研究組織への研究参加、また国内外の日本古典籍の所蔵機関の資料調

査。

4. 研究成果

(1) 新たに考案した「日本古典籍分類表」における分類語の、館蔵和古書約一四五〇〇点への適用作業を完了した。

(2) 「所蔵和古書目録」データベースに適用した「日本古典籍分類表」の分類語と連動した検索機能システムを構築した。また、研究会を開催して、検索結果の分析を行った。

これによって、シソーラスに基づいた各分類の階層ごとに、館蔵和古書の蔵書傾向の分析を行うことが可能となった。たとえば、和歌の家集であれば、その分類は「文学／韻文／和歌／家集」となるが、これらすべての階層からの検索が可能である。それぞれの点数が全体に占める割合とともに示せば、

文学 四六六六點（全体の32%）

和歌 三三七五點（全体の23%）

家集 六一五點（全体の4%）

ということになる。ちなみに「物語」は七九一點であり、それと比較すると、和歌の占める割合が突出していることがわかる。換言すれば、館蔵の原本コレクションは、和歌の領域においてもっとも充実しているといえる。

また、もっとも下位の分類語、和歌でいえば歌合・歌会、歌論・作法、私撰集、勅撰集、その他の分類語毎に、かなり正確な検索が可能となった。個々の例を一、二点例を示せば、足代弘訓詠『海士のさへつり』は、従来の『国書総目録』に基づいた分類（種別）では単に「歌集」であったが、新分類では、階層的に「文学／韻文／和歌／家集」と表示される。これによって、『海士のさへつり』は家集すなわち個人の歌集という、より限定的な把握が可能になった。

また、斎藤秋圃画『葵氏艶譜』は、従来の分類は「風俗」という曖昧な種分けであったが、新分類では、「芸術／書画／絵画／絵本」と表示され、「絵本」という、一定のジャンルでの把握が確立された。

(3) 従来の日本古典籍という概念から外れる、館蔵の和刻本漢籍六〇〇点について、四部分類を見直し、日本古典籍の一領域と

しての新たな和刻本漢籍分類の元に、整理し直した。また、館蔵和古書と同様、検索システムと連動させた。

館蔵の和刻本漢籍は、規模が小さいので、現段階では成果は限定的である。しかし、今後、この作業を推し進めて行けば、漢籍を含めた日本の書籍文化の全体像について、はじめて一元的に把握することが可能となってくる。その点で、和刻本漢籍の分類の見直しは、きわめて大きな意義を持つ試みであると考えられる。

(4) 同じく、書籍以外の形態を取る資料について、館蔵の軸物を中心とする北野克旧蔵書画コレクション約三〇〇点について整理、分類を試みた。

(5) EAJRS (欧州日本資料専門家会議)の年次会に参加し、日本古典籍の新分類「日本古典籍分類表」について発表し、意見の交換をした。

(6) 旧来、分類の必ずしも確立していない絵本の領域について、ボストン美術館、パリ国立図書館など、国内外の所蔵機関で調査を実施し、その考察結果を論文化した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

①鈴木淳「北斎画『百疇』考」、『国文学研究資料館 文学研究篇』、査読無、38号、2012年、1～32頁。

②陳捷「近代における日中間の古典籍の移動について」、『東アジア書誌学への招待』(東方書店)1巻、査読無、2011年、249～275頁。

③鈴木淳「稲葉華溪筆譜」、『国文学研究資料館 文学研究篇』、査読無、37号、2011年、1～32頁。

④金田房子「前書の機能」、『俳句の詩学・美学』(角川学芸出版)、査読無、2009年、156～168頁。

⑤陳捷「日本における宋版との出会い」、

『漢字文化三千年』(臨川書店)、査読無、2009年、343～365頁。

⑥伊藤鉄也「海を渡った古写本『源氏物語』の本文—ハーバード大学蔵「蜻蛉」の場合—」、『日本文学研究ジャーナル』、査読無、3号、2009年、103～132頁。

⑦鈴木淳「北尾重政画『花鳥写真図彙』考—浮世絵師による花鳥画絵本の試み—」、『かがみ』、査読無、39号、2009年、83～118頁。

[学会発表] (計4件)

①神作研一・増井ゆう子・金田房子「国文学研究資料館の和古書—新分類表の適用—」、EAJRS第22回年次会議、2011年9月8日、イギリス、ニューカッスル。

②古瀬蔵・和田洋一・小島歩「国文学研究資料館の公開データベース」、EAJRS第21回年次会議、2010年9月1日、イタリア、ジェノバ。

③大内英範・伊藤鉄也「日本古典籍分類表の活用とコーニツキー版ユニオンカタログの新展開」、EAJRS第20回年次会議、2009年9月17日、イギリス、ノリッジ。

④増井ゆう子「日本古典籍総合目録データベースの現在と今後」、EAJRS第19回年次会議、2008年9月17日、ポルトガル、リスボン。

[図書] (計2件)

①蘆庵文庫研究会(神作研一他)編『蘆庵文庫目録と資料』(青裳堂書店)、2009年、802頁。

②鈴木淳・マクヴェイ山田久仁子編著『ハーバード燕京図書館の日本古典籍』(八木書店)、2008年、325頁。

6. 研究組織

(1)研究代表者

鈴木 淳 (SUZUKI JUN)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：40162953

(2)研究分担者

古瀬 蔵 (FURUSE OSAMU)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：50462172

伊藤 鉄也 (ITO TETSUYA)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：10232456

陳 捷(CHEN JIE)
国文学研究資料館・研究部・准教授
研究者番号：40318580

神作 研一(KANSAKU KENICHI)
国文学研究資料館・研究部・准教授
研究者番号：30267893
(H23年度のみ)

五島 敏芳(GOTO HARUYOSHI)
京都大学・総合博物館・講師
研究者番号：90332139

大内 英範(OOUCHI HIDENORI)
東京大学・資料編纂所・特任助教
研究者番号：60462173
(H21年度のみ)

(3)連携研究者

なし